

議事概要作成日：令和8年7月6日

記録者：上池

令和8年度第1回逗子市防犯推進連絡協議会 議事概要

日 時：令和8年7月2日（木）14時30分～16時00分

場 所：逗子市役所5階 第4会議室

参加者：逗子市防犯協会 会長

山上 寿美 委員

逗子警察署地域防犯連絡所連絡協議会 会長

産形 洋 委員

逗子警察署生活安全課 課長

森田 康道 委員

逗子市民生委員児童委員協議会 会長

産形 喜江 委員

ズシッブ連合会 理事

伴 重夫 委員

逗子市PTA連絡協議会 副会長

齊藤 慎一郎 委員

逗子市経営企画部防災安全課 課長

市川 勲 委員

事務局：上池主事

欠席者：逗子市教育委員会教育部学校教育課 担当課長

長谷川 俊行 委員

傍聴者：0名

1 開会・あいさつ

規定に基づき、委員8名中7名の出席により会議成立の旨を報告した。また、経営企画部担当部長・山田より挨拶があった。

2 議題1 令和7年度事業結果報告について（資料1）

事務局より資料1に基づき、令和7年度事業結果報告について、説明した。

質疑なく、令和7年度事業結果報告を承認した。

3 議題2 令和8年度事業予定について（資料2・資料3）

事務局より資料2・資料3に基づき、令和8年度事業計画と活動方針を説明した。

質疑なく、令和8年度事業計画を承認した。

4 議題3 情報交換

（逗子警察署生活安全課）

市内の刑法犯認知件数は前年比で若干減少しているが、ほぼ横ばいの状況。

特殊詐欺については、従来型のオレオレ詐欺は減少傾向にある一方、SNS型投資詐欺が急増しており、件数・被害額ともに深刻な状況。SNS上で友達登録を促し、投資を勧誘して多額の資金をだまし取る手口が増加している。

警察官や検察官を装った詐欺も依然として発生。警察官が電話でお金の話をするのではなく、不審な電話は一度切って公式番号に折り返すよう呼びかけた。

自転車盗については前年比でやや増加。約6割が無施錠であり、コンビニや駐輪場での短時間駐輪時も必ず施錠するよう呼びかけた。

(逗子市民生委員児童委員協議会)

月例の定例会で包括支援センターから提供される最新の詐欺手口情報を共有し、高齢者への個別の見守り・注意喚起活動を継続している。

海水浴場の開設期間中は夜間の賑わいが増すことから、特に中学生の夜間行動について懸念が示された。

(ズシッブ連合会)

月例会において、駐在所員による防犯講話を年3回実施している。

会員の多くが留守番電話設定を徹底しており、詐欺対策が浸透している。

地域サロンでの生活安全課員による講演が、チラシ等による啓発よりも効果的との意見があった。

(逗子市教育委員会学校教育課) (欠席のため、資料事前提供。)

各学校で毎年、不審者対応避難訓練を実施している。通学路の安全対策について、毎年6月にPTA甲賀委員から危険箇所の要望を収集し、関係機関と協議のうえ対応を分担している(昨年度は約20箇所の要望あり)。保護者への連絡ツールを昨年度末にマチコミへ一本化。緊急情報には「重要」ラベルを付けて配信している。令和8年度は中学校において刃物に関する案件が発生し、逗子警察署生活安全課と連携のうえ対応中。児童同士の暴力やトラブルは複数報告されているが、非行・犯罪行為に繋がる案件は特にない。

(逗子市経営企画部防災安全課)

地域防犯カメラ設置補助金について、令和7・8年度は県の特例措置により補助率10分の9となっている。令和9年度以降は未定。防災防犯メールの登録者数は横ばいだが、LINEでの登録者数は前年同月比で700～800件増加している。毎月10日に防犯啓発情報を配信中であり、登録を呼びかけた。市議会において不審者に関する質問があり、不審者の通報件数は実際の不審者数とは異なる旨を説明し、理解を得た。引き続き啓発活動に力を入れていく。

(逗子市PTA連絡協議会)

学校の地上での問題(不審者・いじめ等)については学校側が迅速に対応しているが、SNS上でのいじめや詐欺など「空中戦」の問題が深刻化している。

小学校3年生頃から携帯電話を持ち始める児童が増えており、インスタグラム・LINEを通じたいじめや、PayPayを利用した詐欺被害も発生している。PTAとして防犯リテ

ラシー向上の取り組みを検討しているが、運営負担が大きく実施が難しい状況。学校の教育カリキュラムへの防犯教育の組み込みについても課題があると指摘した。また、子供を対象とした防犯啓発の強化を求める意見があった。

5 議題4 その他

特に無し。

6 閉 会